

鎖骨骨折の観血術を受けられる様へ

手術は__月__日()に予定されています。お時間は、入院後病棟にてお聞きください。

主治医

看護師

経過 月日	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2~5日目	手術後6~9日目	手術後10日目以降
検査							
処置	必要に応じて手術部位の除毛を行います 爪を切ります 夜、眠れない場合は、早めにお知らせください 	朝、浣腸をします 血栓予防の靴下をはきます 10時頃(術前)に体温、脈、血圧測定を行い、お体の状態を確認します 手術着に着替えます 術前の点滴を開始します 血液型バンドをつけます 手術室に行く前に 義歯、ヘアピン、アクセサリ等を外します 	手術後は術後回復室に入ります 酸素吸入、心電図モニター、足の空気マッサージを行います 時間毎に、体温、脈、血圧測定を行います 尿管が入っているので、排尿でトイレに行く必要はありません 創部に管が入ってきます  痛みの強いときには痛み止めを使います 痛みや腫れが最小限となるよう、患部を冷やします 	創部の確認と消毒、創の管を抜きます 尿管を抜きます 排尿がスムーズに行えるように、水分を多めに摂取して下さい トイレへの自力歩行ができれば、血栓予防の靴下を脱ぎます 術後回復室から一般病室に移動します 患部を保冷剤で冷やします 	創部の確認と消毒を行います 創部の状態でガーゼを透明シールに変更します(シールに変更後は毎日消毒はしません) 患部を保冷剤で冷やします(創部の熱感が軽減するまで継続します) 	退院となります 	
注射 点滴		手術前より点滴を開始し、翌日朝まで継続します					ご不明な事は、いつでもおたずねください
内服薬	持参した薬は、一度担当看護師に全て預けてください 	朝(術前)、看護師が指定した薬のみ少量の水で内服します	術後も本日の経口内服は、できません	朝より内服再開です 一部開始できない薬もあります 必要時事前に説明します 必要に応じて、鎮痛剤の内服が処方されます → 痛みが落ち着いてきたら、徐々に内服の量を減らしましょう			
食事	制限はありません 夕食は食べられます 21時以降は食べたり飲んだりできません。	1日中、食べたり飲んだりできません 飴、ガムも禁止です 		朝より食事が開始します 			
安静 リハビリ	歩行、移動制限はありません。 患部は、バンドで固定します		手術後はベッド上安静になります 急に頭を持ち上げたり、起き上がりたりしないでください 寝返りは、できます 患部側の手指は、良く動かしましょう	朝から歩行可能です 患部は、三角巾で固定します 医師の指示によりリハビリが開始します 肩関節の動かし方は、医師やリハビリ担当から説明があります 			外来通院リハビリとなります
清潔	シャワーに入ります 			お体を拭きます 	創部のガーゼを透明なシールに変更したら、シャワー可能です シールが剥がれないように注意しましょう		抜糸前に退院される場合は、抜糸までシャワーのみで対応して下さい
説明	外来で手術について説明を受けられてない方へは、手術の説明があります 手術に必要な物品の説明をさせていただきます 麻酔科医の診察があります。	手術中、ご家族の方は病棟で待機し所在がわかるようにしてください 	手術の結果について医師より説明があります 				抜糸前に退院される方は、毎日創部を観察し、異常があった場合は、お早めに外来を受診されることをお勧めします 

※この表は治療のおおよその経過をお知らせするものです。状況に応じて予定が変更になる場合があります。